

今後のステージの運用について

【令和2年12月24日】

区分	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者 用病床	療養者数	検査 陽性率	新規 感染者数	先週1週間と の比較	感染経路 不明割合
全道(12/23)	885床	33床	減少 1,666人	減少 4.7%	845人/週	減少	25.1%
うち札幌市	416床	19床	886人	5.3%	450人/週	減少	30.7%
ステージ4基準	350床	35床	796人	10%	796人/週	増加	50%
ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週	増加	50%

年末年始における医療崩壊を防ぐため、強い措置を講じる

【判断の根拠】

別添のとおり

【基本的考え方】

全道の新規感染者数は減少傾向にあるものの、医療・福祉施設等における集団感染が発生するなど、引き続き、医療提供体制へのひっ迫の度合いは厳しい状況が続いており、特に通常の医療提供が難しくなる年末年始における医療崩壊を防ぐため、警戒ステージは3を維持した中で、引き続き、全道において行動変容を要請する。

札幌市内においては、本道の人口の3分の1を占め、都市機能が集積し、人の移動の中核となるなど、社会経済活動の中心的地域という特殊性に鑑み、感染状況に改善の兆しが現れているものの、年末年始の医療提供体制を見据えて、ステージ4相当の特措法に基づく措置を継続する。

また、道北圏域の中心都市であり3次医療圏の中核を担っている旭川市において、集団感染を中心とした厳しい感染状況が続いていることから、これ以上の医療提供体制の負荷を高めないため、特措法に基づく措置を継続する。

最近の感染状況について

【国の新型コロナウイルス感染症対策分科会の見解】

北海道の新規感染者数は減少傾向が見られる。新規感染の多くは病院・施設内の感染。旭川市の医療機関および福祉施設内の感染状況は引き続き注意が必要。

北海道では、飲食店の時短要請が早かった札幌では11月中旬から人流の減少がみられ、実効再生産数が1以下を継続している。北海道全体でも新規感染者数の減少が続いている。しかし、直近では実効再生産数が1に近づきつつあり、注意が必要。

【全道の状況】

新規感染者数は減少しつつあり、リンクなしの感染者数の割合も大きく低下しているものの、引き続き、医療・福祉施設や学校、事業所といった施設における集団感染発生が新規感染者数を押し上げている。

特に医療機関や高齢者施設において大規模な集団感染の発生が続いており、患者数の増加と相まって病床の負荷を増加させている。また、年代別割合も、引き続き、高齢者が高い割合を占め、重症者の増加の懸念が増している状況。

引き続き、全道各地での感染者の確認が続いていること、医療提供体制のひっ迫度合いが増している地域があること、特に通常の医療の提供が難しくなる年末年始を控え、感染拡大への対応はもとより、急病や怪我など、緊急時の入院患者の増加などによるこれ以上の負荷の増加を防ぐ必要があること、さらには、大人数での飲食の機会が多くなる時期におけるリスク回避の行動の徹底を図る必要がある。

なお、旭川市内では、新規感染者は減少し、これまでの集団感染の拡大傾向に一定の歯止めがかかった状況。また、引き続きリンクなしや陽性率の割合は低く、現時点で市中における感染の広がりが確認されている状況にはない。

しかしながら、人口当たりの感染者数は高い水準にあることや、医療機関等での集団感染の発生により、引き続き医療提供体制のひっ迫状況が続いており、感染症への対応はもとより、交通事故や急病など緊急時の医療提供ができなくなる恐れが継続している。

今後、さらに負荷が高まると危機的な状況になることも踏まえ、行動変容のさらなる徹底と、大規模な集団感染へのより迅速な対応を継続していく必要がある。

【札幌市の状況】

急激に増加してきた札幌市の新規感染者数は、11月24日をピークに減少傾向が続き、リンクなしの感染者数の割合も大きく低下しているが、人口当たりの感染者数は、依然として高い水準であり、入院患者数及び重症患者数の減少も見られていない。

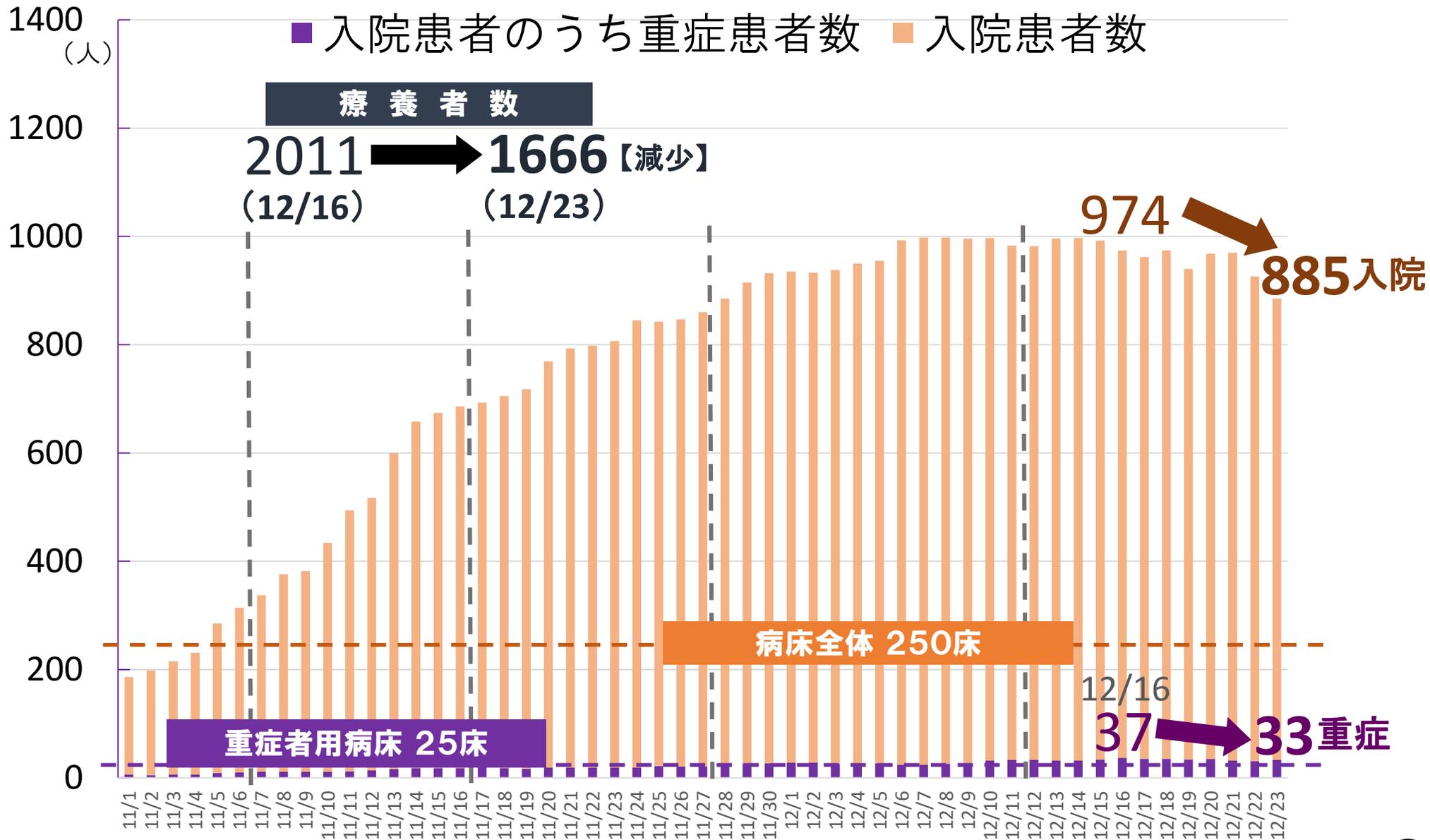
営業時間短縮等の要請を行った施設においては、11月後半から発生店舗数及び新規感染者数ともに減少しているものの、接待を伴う飲食店では、引き続き、一定数の感染確認が続いている。

また、医療・福祉施設に加え、学校や事業所といった施設において集団感染が発生し、医療に対する高い負荷がかかっている状態が継続しており、交通事故や急病などの緊急時の医療提供への影響も続いているほか、重症化リスクの高い高齢者の感染者の割合が高い状態も続いている。

こうした中、通常の医療の提供が難しくなる年末年始において、感染拡大への対応はもとより、急病や怪我など、緊急時の入院患者の増加などが生じると医療崩壊といった危機的な事態に至ることも懸念されることから、年末年始を控え、人と人との接触機会の低減や飲食の場面におけるリスク回避の行動の徹底を図るため、引き続き、札幌市を対象とした強い措置を継続する。

なお、営業時間短縮等の要請を行った施設においては、感染確認が減少傾向にあるものの、一定数の発生が続いていることから、引き続き、高い警戒が必要であり、対象範囲を見直した上で、要請を継続する。

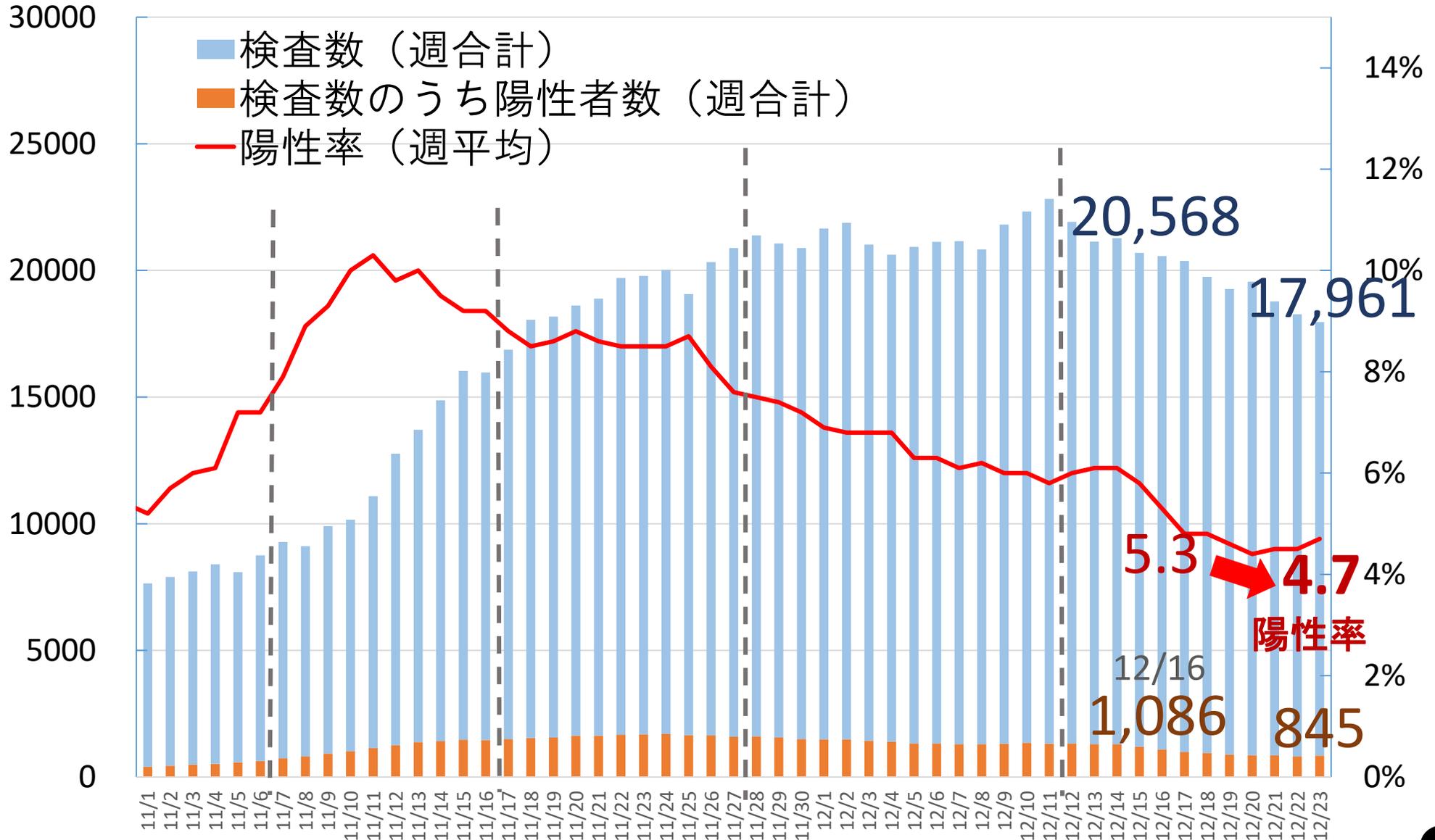
医療提供体制等の負荷(指標①)



監視体制(指標②)

検査数 (人)

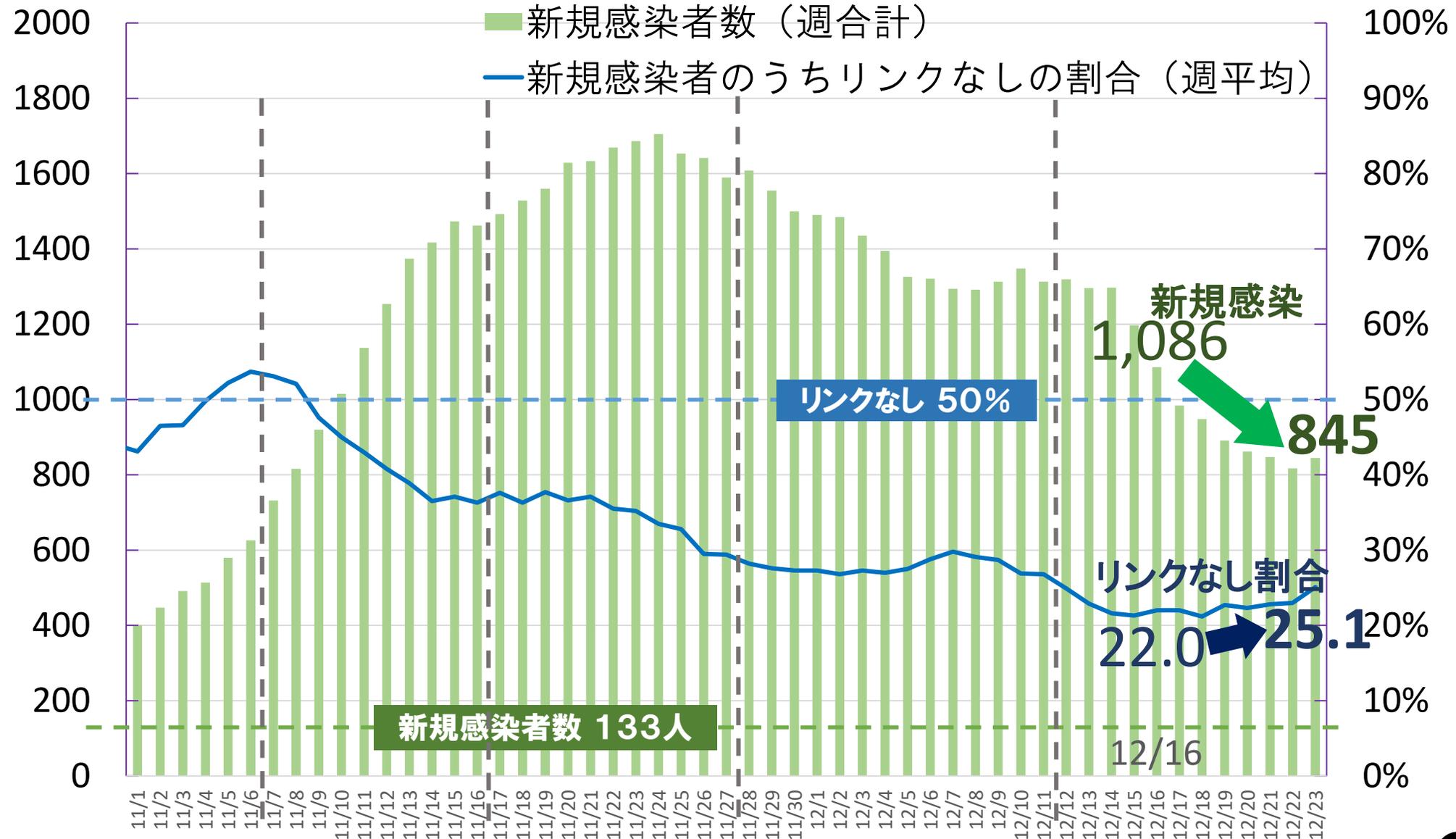
陽性率



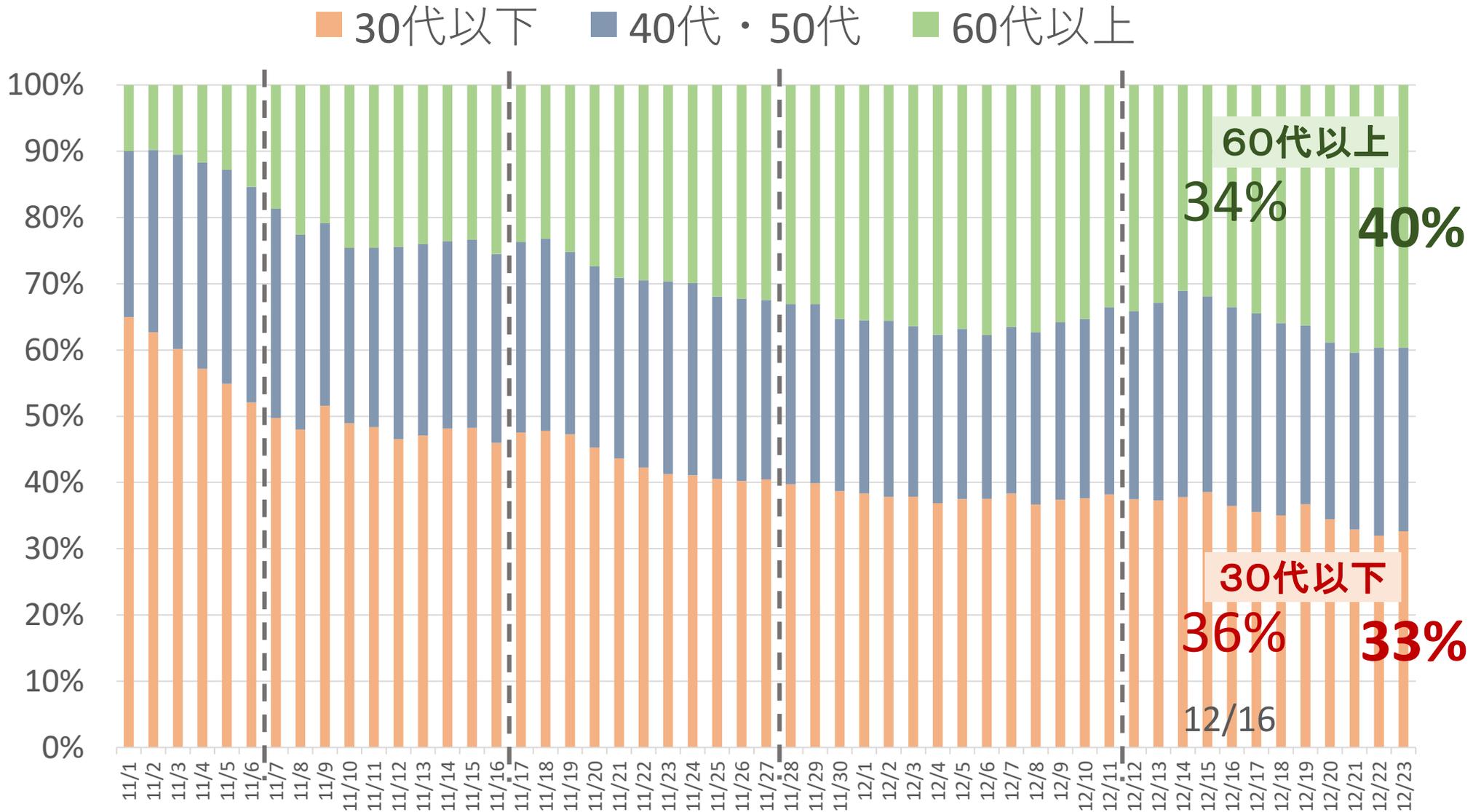
感染状況(指標③)

新規感染数(人)

リンクなしの割合

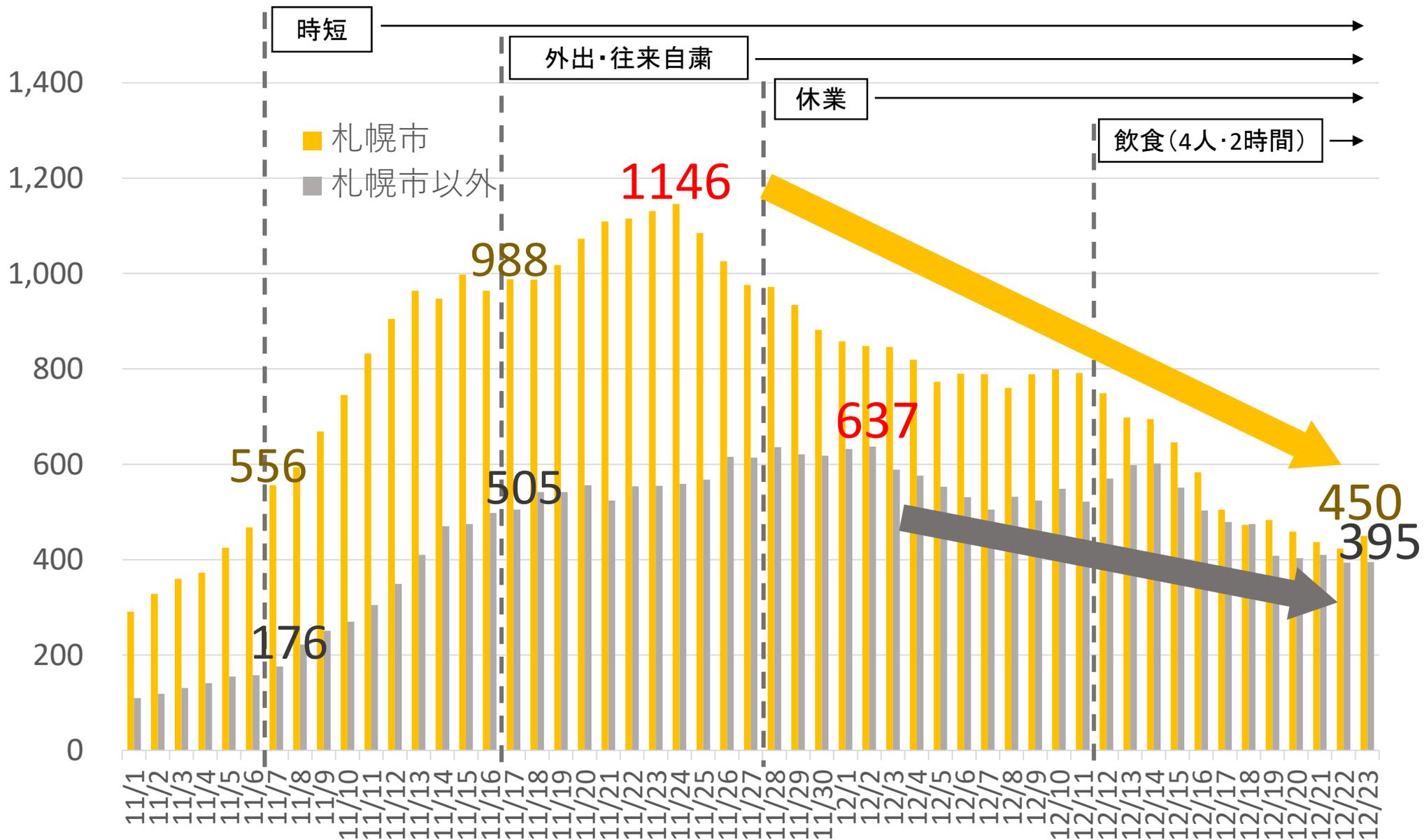


新規感染者の年代別割合(全道)



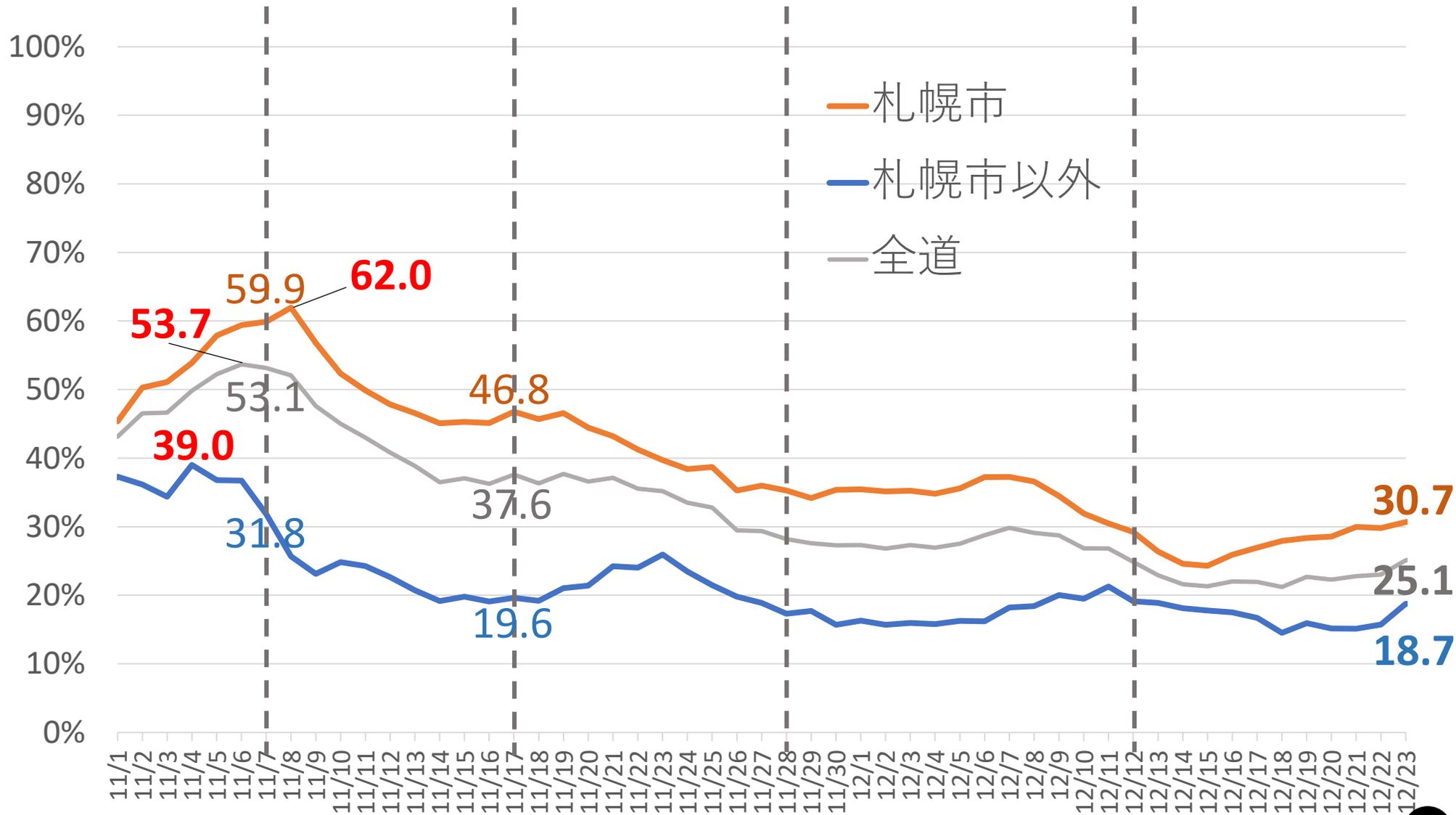
(新規感染者のうち年齢公表分を7日間平均で集計)

地域別新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



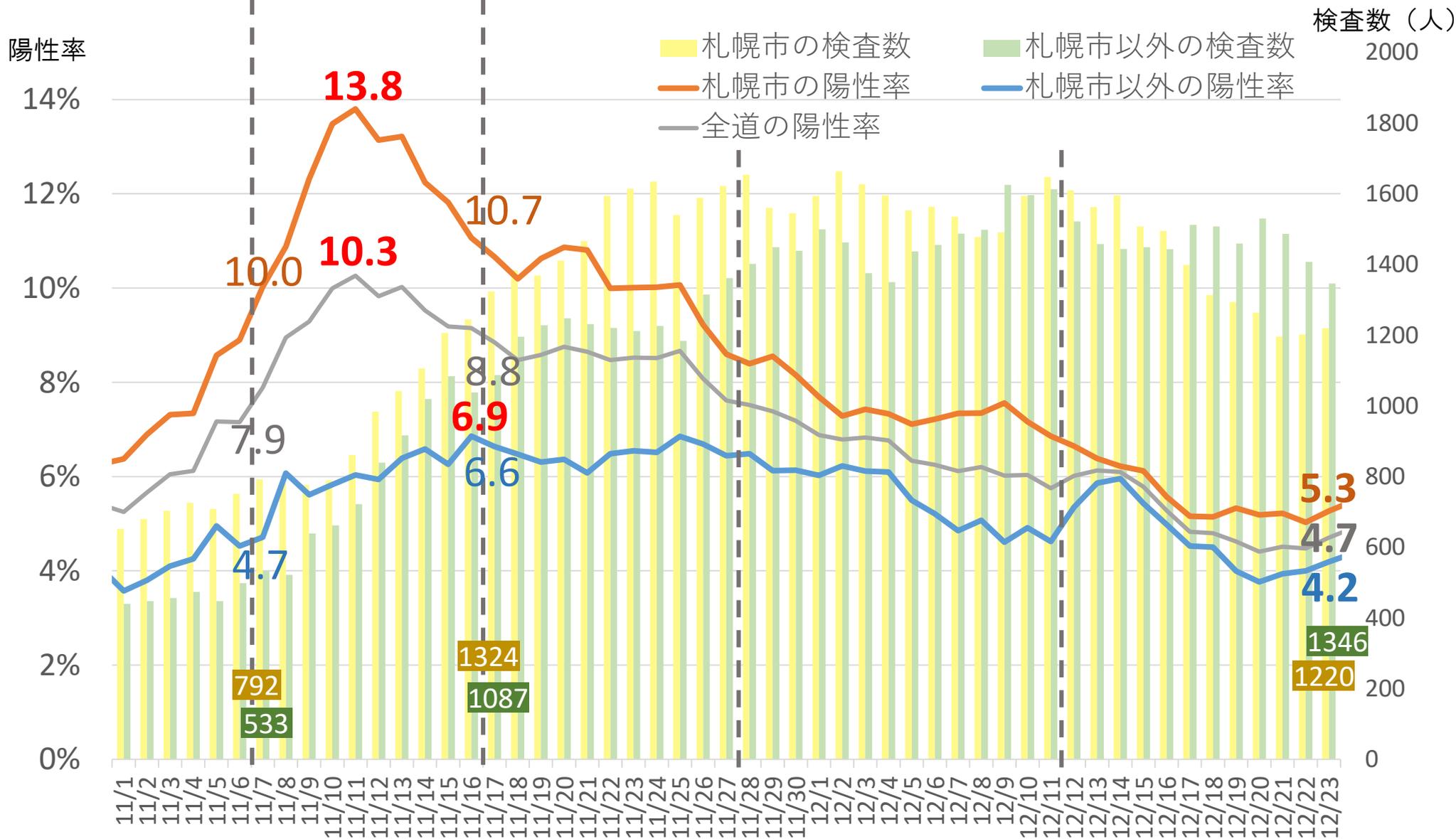
(7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者及び札幌市以外が札幌市居住として発表した者を含む。)

地域別リンクなし割合(札幌市／札幌市以外)



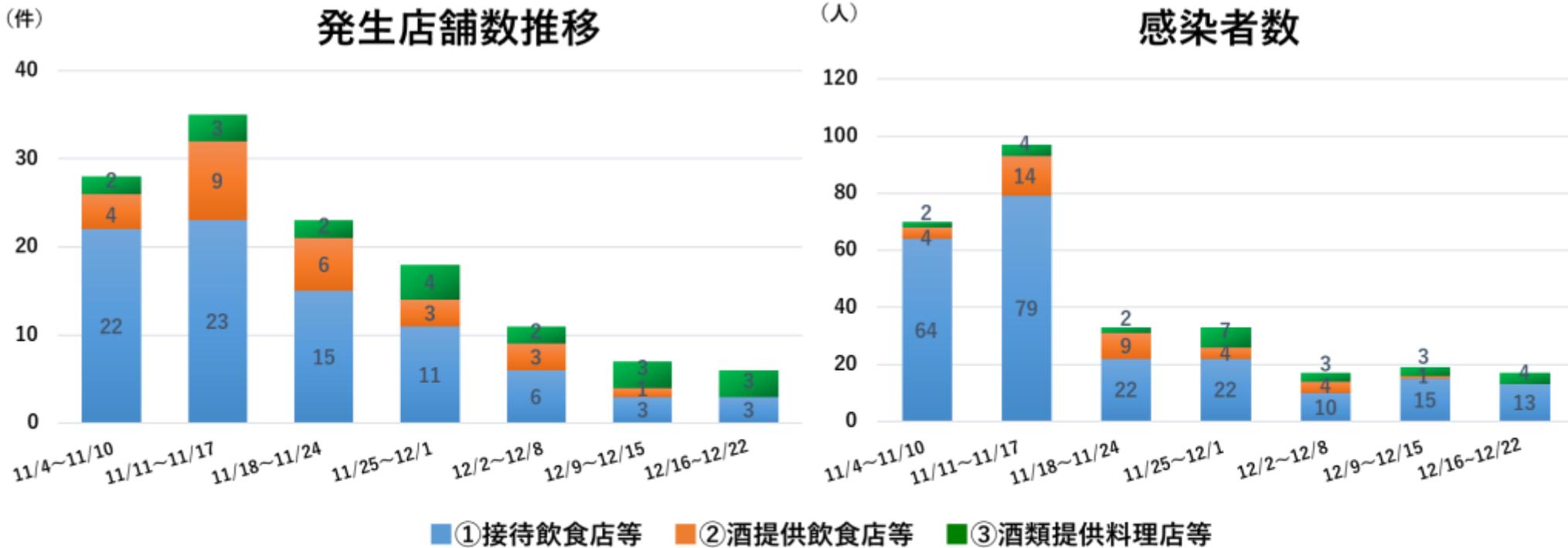
(7日間移動平均)

地域別検査数・陽性率(札幌市／札幌市以外)



(7日間移動平均)

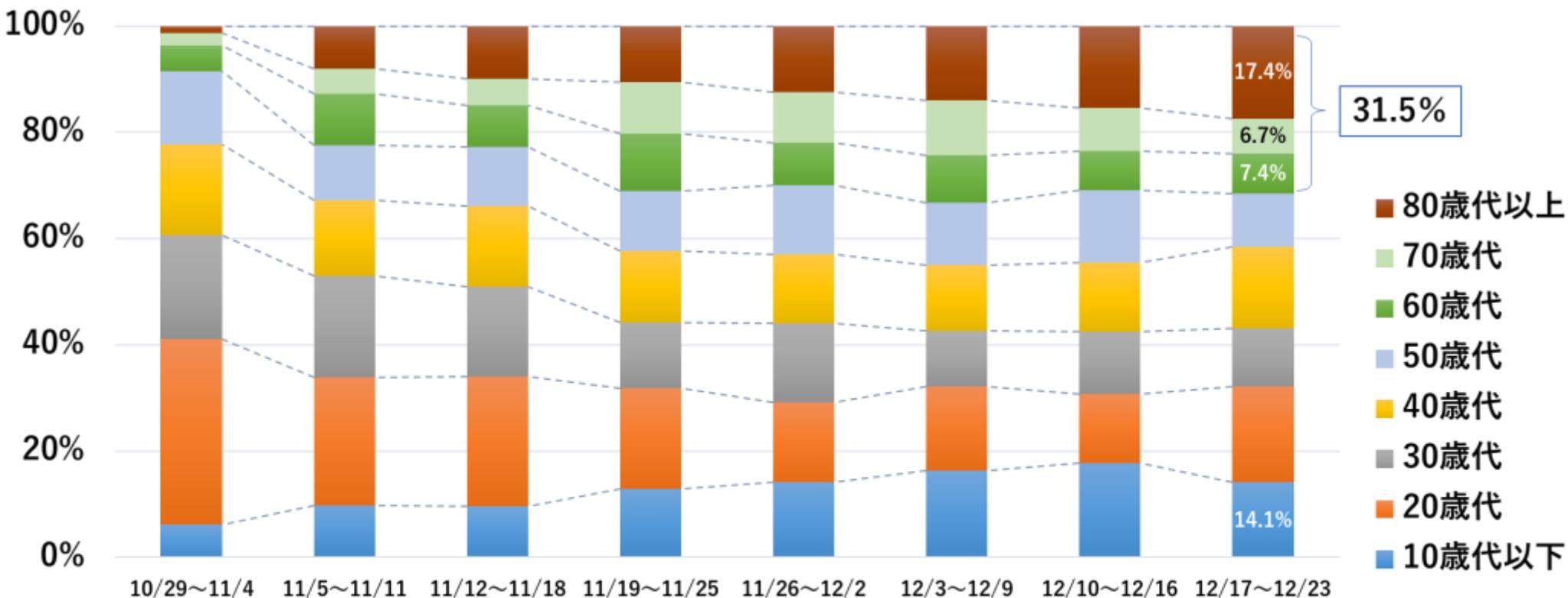
時短要請等による感染状況の推移(札幌市)



※ ①ニュークラブ、ホストクラブ等 ②バー、ナイトクラブ等 ③居酒屋、ラーメン店、そば屋等

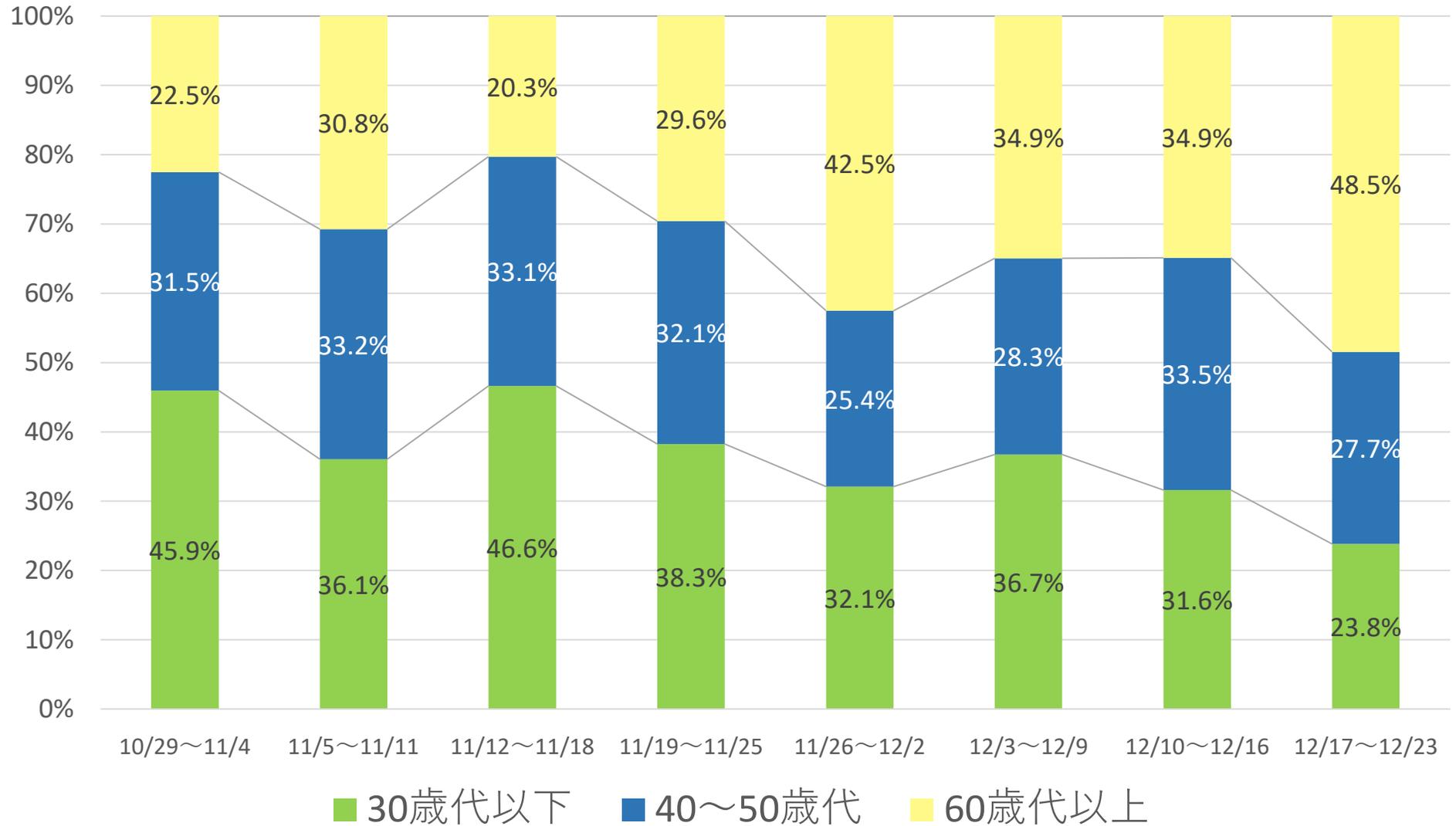
➤ 11月後半に減少したが、感染事例の発生は続いており、再び増加に転じることを防がなければならない

年代別割合(札幌市)



➤ 重症化リスクの高い高齢者の感染者数の割合が3割を超えているほか、世代を問わず、感染の広がりが見られる状況

年代別割合(札幌市以外)



集団感染の発生状況

(12/22現在)

	札幌市		札幌市以外		合計	
	11/7~ 11/27 (3週間)	11/28~ 12/18 (3週間)	11/7~ 11/27 (3週間)	11/28~ 12/18 (3週間)	11/7~ 11/27 (3週間)	11/28~ 12/18 (3週間)
医療施設 福祉施設	20件 (836人)	24件 (404人)	16件 (830人)	14件 (468人)	36件 (1666人)	38件 (872人)
学校	6件 (129人)	4件 (131人)	4件 (41人)	3件 (42人)	10件 (170人)	7件 (173人)
事業所等	9件 (106人)	2件 (32人)	5件 (87人)	4件 (47人)	14件 (193人)	6件 (79人)
飲食店等 (※)	7件 (96人)	1件 (17人)	7件 (86人)	4件 (20人)	14件 (182人)	5件 (37人)
合 計	42件 (1167人)	31件 (584人)	32件 (1044人)	25件 (577人)	74件 (2211人)	56件 (1161人)

※接待を伴うものを含む

旭川市の感染状況

